

令和8年度 教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	50	学校名	恵那南高等学校
------	----	-----	---------

社会的役割等 (スク・ミッション)	地域と連携・協働した幅広い学びを推進する高校として 総合学科の特長を活かした多様な学び、少人数の良さを活かしたきめ細かな教育を通して 一人一人の個性を大切に、地域を支える人材の育成を目指す学校		
学校教育目標 (教育方針)	社会的・職業的自立に向けた基礎となる資質や能力を培い、知・徳・体の調和のとれた心豊かな地域社会人を育成します		
3つの方針 (スク・ポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【GP】	<ul style="list-style-type: none"> 自己の適性を理解し、自らの将来をデザインし、自己表現に向けて自発的に行動できる生徒 多様な人々と協調性をもって豊かな人間関係を築き、他者と協力して課題解決に取り組める生徒 地域との関わりを大切に、地域の課題を発見し、地域の持続的な発展に貢献できる生徒 	
	生徒をどう 育てるか 【CP】	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人の個性や能力を開花させ、将来の進路目標を実現するためのカリキュラムの編成とICT活用などによる分かりやすく個に応じた指導の実施 「探究的な学び」や教科学習、対話的な学びによる、コミュニケーション能力と自己表現力の育成 長く広い視野で自分の住む地域のことを考える心を育む教育活動の推進 	
	どんな生徒を 待っているか 【AP】	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動、部活動、生徒会活動などを通じて、自らの可能性に挑戦したい生徒 人との関わりやつながりを大切に、仲間と協力しながら主体的に学びたい生徒 地域活動やボランティア活動などに主体的に参加し、地域社会で活躍したいという意欲のある生徒 	
学校の抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> 恵那南地区唯一の高等学校として、地域を担う後継者を育成し、地域社会に求められている役割を将来にわたり継続的に果たしていくこと。 生徒の多様な進路希望に的確に対応するために、教職員による充実した指導体制の維持・強化を図るとともに、地域の教育資源を活かした教育を継続的に実施すること。 地域の少子化や中学校の統合が進む中、異校種連携教育活動の継続実施とさらなる活発化を図ること。 教育の継承と組織体制の安定化を図り、生徒への支援を継続的かつ安定して行える持続可能な体制を構築すること。 		
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標	
	学校経営	教職員の働き方改革を推進し、教職員・生徒ともに健康で生き生きと活動できる学校を目指します。 広報活動の工夫により情報発信のさらなる充実を図ります。 方法を工夫し、教員間の情報共有をさらに強化します。	
	学習指導	生徒の興味関心と進路目標に応じた学力の伸長を目指します。 主体的に学ぶ姿勢や、自ら進んで課題を解決しようとする探究する姿勢を高めます。	
	進路指導	個々の生徒の適性を的確に把握し、入学時から計画的・継続的で組織的な進路支援ならびにキャリア教育を推進します。 生徒や保護者に対し適切に情報を提供し、多様な進路に応じた進路相談を行うことで、主体的に進路を選択決定できる能力を育てます。	
	生徒指導	共感的な理解に徹し、望ましい人間関係を築く力と自己指導能力を育てます。 所属感を高め、よりよい生活や望ましい人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てます。	

年度目標			年度末評価(自己評価)				
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	県教育振興 基本計画での 位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A,B,C,D	成果と課題	総合 評価 A,B,C,D
学校経営	①広報活動を活発に行うことにより、学校の活動や魅力を家庭や地域に広く伝え、学校と家庭・地域社会との相互理解を図ります。	施策I-7 施策IV-20	本校に対する理解はどの程度深まったか。保護者アンケート1・2・3・4 肯定90%以上				
	②常に教職員の業務の見直しを図り、適正化・効率化に努め、教職員が生き生きと働き、生徒ひとりひとりとしっかり向き合える時間の確保に努めます。	施策IV-27	時間外在校等時間の上限を超えない取組、工夫ができていますか。				
	③情報共有を密にし、教育方法について共有するなど教職員が信頼し合えるチームづくりを行い、「働きやすい環境づくり」を構築します。	施策IV-28	情報共有方法の見直しができ、職員の健康管理について配慮できているか。				
学習指導	①少人数分割授業や習熟度別授業を展開し、ICT機器を効果的に活用するなど、学習方法を工夫し、学力の定着を図ります。	施策II-8 施策II-9	生徒アンケート10・12 肯定85%以上				
	②教育研究実践機関「浪慢学園」の連携を強化し、協働的な学びや地域連携事業等の体験的な学びを活用して、生徒の主体的な学習姿勢や課題解決能力を高めます。	施策I-1 施策I-4 施策I-7	地域活性化への貢献度(学校運営協議会での評価)				
	③演劇等ワークショップや種々の地域連携事業を通して、生徒の主体性、コミュニケーション能力や自己表現力の向上を図る魅力ある教育を推進します。	施策I-1 施策I-7	生徒アンケート9 肯定85%以上				
進路指導	①高校3年間を見通した指導計画を作成し、生徒一人一人が各自の進路目標を達成できるように、全職員で指導と支援の充実を図ります。	施策IV-23	生徒アンケート15・16・17 肯定90%以上 保護者アンケート10・17・18 肯定90%以上				
	②「COREハイスクール事業」を活用し各種教育活動を通じて地域に貢献できる人材を育てます。	施策I-7	地域人材の育成につながっているか。(進路先)				
	③地域の企業等と連携した企業実習の充実と、望ましい職業観、勤労観を育てます。	施策I-7 施策II-13	企業実習を通して職業観、勤労観が高められたか。(振り返りアンケート)				
生徒指導	①挨拶、言葉遣い、基本的なマナー、規範意識の向上について、学校生活の全ての場面で全職員が指導に当たり、生徒理解に基づく支援を行います。	施策I-1 施策I-2	生徒アンケート11・12・14 保護者アンケート13・14・16 肯定85%以上				
	②地域行事や地域施設を利用した学習に積極的に参加し、地域との交流を深めて自己肯定感の高揚に努めます。	施策I-4 施策I-7	生徒が地域と関わることで、どれだけ自己肯定感の高揚につながったか。				
	③ふるさと魅力体験事業を活用するとともに、外部の人材による各種講座等を増やすことにより、地域に根差した道徳心を育てます。	施策I-1 施策I-2 施策I-7	生徒アンケート23 保護者アンケート22 肯定80%以上				
	④出身中学校や特別支援学校と高校間、医療機関等との連携を密にし、情報交流を深めることで、適切な生徒理解と支援をします。	施策I-7	情報交流により生徒の成長が図られたか。				

来年度に向けての改善方策等 実施日：令和9年 月 日 学校関係者評価 実施日：令和9年 月 日

--	--